

# 恋人の聖地「観光交流大賞」北アルプスに決定

4月20日、東京ベイクルージング、シンフォニー・クラシカの船内で恋人の聖地「観光交流大賞」の授賞式が行われた。

恋人の聖地プロジェクトは、2006年から地域活性化と少子化対策への貢献のため、全国の観光スポットからプロポーズにふさわしい場所を「恋人の聖地」として選定。地域の発展も担ってきた。

来年で10周年を迎えるのを機会に全国の恋人の聖地から独

自の観光資源、コンセプトを活かした取り組み、活動実績を上げた所に観光交流大賞を贈るのが今回のイベントの趣旨。

大賞に輝いたのは「黒部ダムの麓信濃大町～北アルプスハートロード～」（長野県大町市）。市内を一望できる鷹狩山展望公園で高さ約1.7m、横幅が1.5mのハートをイメージしたモニュメントを設置したことや、精力的な婚活イベントの斡旋などの活動が評価された。鷹狩山展望公園では実際に1組のカップルが結婚式を挙げている。

審査員を務めた桂由美氏は「2006年の活動開始から比べると行政関係の方々の参加が増えて嬉しい。今の日本は非婚化が進みナシ婚も増えているが、他の国では結婚式は一生に一度の物として大切にされています。日本でも今一度結婚式のロマンを持ってほしい」と語った。



▲婚活イベントの斡旋も評価